

平成13年緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰受賞者名簿

(五十音順)

〔 個 人 〕

おち みちとら
越智 通 寅 (愛媛県今治市)

まつうら こ
松 浦 ちづ子 (兵庫県揖保郡新宮町)

まるやま のぼる
丸 山 昇 (長野県松本市)

〔 団 体 〕

いんべことぶきかい
忌 部 寿 会 (島根県松江市)

うじえちょうりつおしあげしょうがっこうみどり しょうねんだん
氏 家 町 立 押 上 小 学 校 緑 の 少 年 団 (栃木県塩谷郡氏家町)

かけちょうろうじん れんごうかい
加 計 町 老 人 ク ラ ブ 連 合 会 (広島県山県郡加計町)

かつやましりつかつやまちゅうぶちゅうがっこうせいとかい
勝 山 市 立 勝 山 中 部 中 学 校 生 徒 会 (福井県勝山市)

かぶしきかいしやすみやせいとうしょ
株 式 会 社 隅 谷 製 陶 所 (岐阜県土岐郡笠原町)

かぶしきかいしやほっかいどうこうじょう
サ ッ ポ ロ ビ ー ル 株 式 会 社 北 海 道 工 場 (北海道恵庭市)

ところぎよぎょうきょうどうくみあい
常 呂 漁 業 協 同 組 合 (北海道常呂郡常呂町)

ないだいじん しぜん まも かい
内 大 臣 の 自 然 を 守 る 会 (熊本県上益城郡矢部町)

みどり しょうねんだん
ヒ ノ キ ア ス ナ ロ 緑 の 少 年 団 (青森県青森市)

ふくれぎ しょうねんだん
福 連 木 み ど り の 少 年 団 (熊本県天草郡天草町)

とも かい
フ ラ ワ ー ラ ン ド 友 の 会 (東京都世田谷区)

こうえんかんりかい
ふ れ あ い 公 園 管 理 会 (兵庫県神戸市)

まいかわ くふじんぶ
舞 川 7 区 婦 人 部 (岩手県一関市)

むろねむらだい くじち かい
室 根 村 第 1 2 区 自 治 会 (岩手県東磐井郡室根村)

〔 学 校 〕

おきなわけんりつよかつこうとうがっこう
沖 縄 県 立 与 勝 高 等 学 校 (沖縄県中頭郡勝連町)

おとわちょうりつはぎしょうがっこう
音 羽 町 立 萩 小 学 校 (愛知県宝飯郡音羽町)

なすちょうりつおおしましょうがっこう
那 須 町 立 大 島 小 学 校 (栃木県那須郡那須町)

〔 地 方 公 共 団 体 〕

かどまし
門 真 市 (大阪府門真市)

くらしきし
倉 敷 市 (岡山県倉敷市)

さがえし
寒 河 江 市 (山形県寒河江市)

とよたし
豊 田 市 (愛知県豊田市)

[個人]

氏名	<p>おち みちとら 越智 通寅</p>
住所	<p>愛媛県今治市</p>
功績の概要	<p>同氏は温暖寡雨である今治地域において、水源林としての森林の再生と持続的な経営の重要性を唱え、水土保持のため長伐期複層林の普及に取り組んでいる。</p> <p>同氏が昭和61年に今治市・玉川町及び朝倉村共有山組合長に就任以来、380ヘクタールの複層林を造成するなど、災害と渇水を繰り返してきた蒼社川上流域の森林の水源かん養機能を高度に発揮させるため、活発に水源林の整備を進めている。</p> <p>さらに、水源林の整備のためには河川の上流と下流が一体となった努力が必要であることをねばり強く説き、下流域に位置し、水源林の受益者である今治市において、上流域である玉川町及び朝倉村の水源かん養保安林の整備に対して補助することを目的とした「今治市水源の森基金条例」が、制定される大きな力となった。</p> <p>また、自治体、学校関係者等に働きかけ、公有林において小中学生を対象とした林業体験学習を実現させるなど、地域の緑化意識の向上に大きく貢献している。</p>

[個人]

氏名	<p>まつうら こ 松浦 ちづ子</p>
住所	<p>兵庫県揖保郡新宮町</p>
功績の概要	<p>同氏は約40年間にわたり、農村地域にある住居の周りの休耕田を利用した16アールの花壇に、四季を通じて咲く多様な自家生産苗を植栽し、手作りの小物や資材を用いて花壇のアクセントを工夫するなど周辺の風景にマッチした自然と調和する景観づくりを行っている。</p> <p>また、花に関する情報収集や植栽技術の向上に積極的に関わり、多数の花壇に色彩の配分や高低差を取り入れたコーディネーションを考案するとともに、生ゴミの堆肥化や栽培用土のリサイクル活用など環境保全にも配慮しながら新品種の栽培にもチャレンジしている。</p> <p>加えて、広大な面積の花壇を一般に開放することにより県内外からも多くの見学者が訪れ、幅広い人々との交流の輪を拓けるとともに、町の花と緑の協会副会長として町内全域の緑化団体への指導・助言を積極的に行っている。</p> <p>現在では同氏の花壇が「花の町」の新名所として近隣に知られるまでになり、花や緑に対する周辺住民や町の意識変革を起こすなど、同氏のたゆまぬ努力による波及効果は特筆され、花を通じた緑化推進活動の功績は大なるものがある。</p>

[個人]

<p>名 称</p>	<p>まるやま のぼる 丸山 昇</p>
<p>住 所</p>	<p>長野県松本市</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同氏は、自然保護や環境の緑化に情熱を傾け、昭和48年(株)鉢伏山荘の経営に参加、以来多年にわたり多額な私財を投入し、かつて放牧や観光客によって荒らされ減少の一途をたどっていた高原特有の植物群の保護・育成に取り組み、鉢伏山荘管理地約10haを高原在来種による草木の植生回復を図った。</p> <p>特に風雨の強い鉢伏山周辺の自然環境下で、一度荒廃した自然の回復には、粘り強い播種の継続と雨水等の対策が必要とされたが、在来種の種による播種はもとより独自に考案した散策道の雨水浸透対策等を実施し本来の自然植生環境の回復を図り、現在では、高原の在来種である約300種の貴重な植物が繁茂し、四季に応じて咲き乱れる草木が訪れた人の目を楽しませている。</p> <p>また、自然エネルギーを利用した、浄化槽方式の、環境負荷が低いトイレを設置したほか、高原を訪れる人々に自然解説を行ない、自然の大切さやすばらしさを説き、自然保護意識の高揚に努めている。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>いんべことぶきかい 忌部寿会</p>
<p>所在地</p>	<p>島根県松江市</p>
<p>代表者</p>	<p>会 長 今岡 定雄</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同会の活動は、花づくりを核とした高齢者の生きがいをづくりを目的とした地区有志による「菊作り同好会」を中心とした花づくり活動が始まりであるが、昭和57年の島根国体を契機に主要地方道松江木次線沿道で花づくりを行うこととなった。</p> <p>その後も地道に活動を続け、この道路は現在では「忌部花街道」として、松江市と奥出雲を結ぶ主要幹線を彩る景観として広く一般に知られることとなり、年間を通じてそこを通る人々に花と緑の景観を提供し目を和ませている。</p> <p>花壇数も22箇所（700㎡）に増設し、パンジーやチューリップなど十数種類の草花を季節に合わせて移植・管理している。</p> <p>花は苗から育て、夏場の水やりや草取りは地域の子供たちと一緒にいき、子供たちに花づくりの楽しさや大変さを感じてもらおう機会を提供し、普及啓発に努めている。また、高齢者の生きがい・地域活動も率先して行っている。</p> <p>このように、同会は、その活動を通じ、活動に参加する者にも道路を通る人々にも、それぞれ道路緑化の意識の高揚推進に努めている。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>うじいえちょうりつおしあげしょうがっこうみどり しょうねんだん 氏家町立押上小学校緑の少年団</p>
<p>所 在 地</p>	<p>栃木県塩谷郡氏家町</p>
<p>代 表 者</p>	<p>校 長 岡田 正</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同少年団は、全校児童263名で構成されており、平成元年の結成以来教職員、P T A、同窓会、老人会、子供会育成会等様々な地域住民の支援を受けながら、緑化を積極的に推進している。</p> <p>具体的には、学校に隣接する学校林「学びの森」において様々な体験活動を行うとともに、その整備をP T Aの協力を得ながら日常的に行うなど、積極的な学校林活動を推進している。</p> <p>さらに、児童がさし木して育てた花木等を、学校内はもとより地域の道路などに植え児童が管理し、地域に緑の潤いを与え豊かな環境を創り出すとともに、勤労と郷土愛の精神を育成している。また、廊下などのオープンスペースを、児童が育てた花苗や、地元から提供を受けた鉢物などで室内緑化を進め緑いっぱいの学舎とすることにより、児童が緑を身近に感じ、植物を大切にする心が芽生えるなど緑化意識の高揚が図られており、近隣の小中学校のモデルともなっている。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>かけちょうろうじん れんごうかい 加計町老人クラブ連合会</p>
<p>所 在 地</p>	<p>広島県山県郡加計町</p>
<p>代 表 者</p>	<p>会 長 栗 栖 定</p>
<p>功績の概要</p>	<p>加計町の町花であり、将来ダム湖（温井ダム）に沈む川沿いに自生するキシツツジ（河原ツツジ）を何とか保存出来ないか、という気運が地元や老人会の中で盛り上がり、同会で「町花保存作業」として取り組むこととなった。</p> <p>これを受け、平成4年より移植や挿し木の研究を進めるとともに、ダム湖畔の展望広場に移植する作業及び維持管理作業を行っている。</p> <p>また、地元や広島市などの住民の参加により採集したドングリの試験植樹に取り組むとともに、ダム環境整備の一助となる活動として平成5年より「貯水池周辺植樹祭」を行っているほか、貯水池周辺の植栽の管理や展望広場の草取り等、幅広く活動しており、ダム周辺の環境美化に大きく貢献している。</p> <p>同会は、約千人の会員により組織されており、温井ダム周辺と地域の美化及び緑の愛護の実践に大いに成果を上げ、地域のみならず温井ダムを訪れる人々からも喜ばれている。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>かつやましりつかつやまちゅうぶちゅうがっこうせいとかい 勝山市立勝山中部中学校生徒会</p>
<p>所 在 地</p>	<p>福井県勝山市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>会 長 宮塚 圭市</p>
<p>功績の概要</p>	<p>浄土寺川は同校（生徒数443名）の南側を東西に流れる一級河川で、市街地を流れるホタルの住む川としても市民に親しまれている川である。</p> <p>昭和52年、同校近くを流れる浄土寺川に、多くのゴミが捨てられているのを見て、川をきれいにしようという同校生徒会の企画により、全校生徒による河川美化活動が行われ、これをきっかけに、以来26年間、生徒会の定期行事として毎年その活動が受け継がれ実施されている。</p> <p>河川美化活動は、平成2年には社会福祉部設立、生徒会の特別委員会、美化委員会の協力を得て、定期的な美化、緑化活動を継続して行っている。また、平成3年には浄土寺川研究クラブが発足、動植物調査、水質調査を行い学校祭で発表したり、地域住民を対象にした河川美化の意識調査を実施するなど、浄土寺川を通じ、全生徒に環境美化、緑化意識が深く浸透している。</p> <p>平成5年度以降は、河川の整備にともない活動も活発化し、堤防沿いの桜並木の整備、コスモスの植栽、管理等に積極的に取り組んでいる。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>かぶしかいしゃ すみやせいとうしょ 株式会社 隅谷製陶所</p>
<p>所 在 地</p>	<p>岐阜県土岐郡笠原町</p>
<p>代 表 者</p>	<p>代表取締役 隅谷 洋里</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同工場は、昭和43年操業開始の陶磁器製タイル製造工場である。「よい製品はよい環境から」という基本理念のもと、「空と緑の健康工場」を目指し全社員参加による手作りの緑化活動を推進した結果、サツキ、モミジ、サクラ等の樹木や、バラ、アジサイ、ユリ等の四季の花々が生育している。このような緑地の整備により、職業病である「じん肺」の新規発生が無くなるといった効果もあがっている。また他工場の工場緑化推進担当者の見学を積極的に受け入れることにより、同工場の工場緑化への取組は地域の他企業へも波及している。</p> <p>さらに緑地、環境施設は地域住民に開放され、地域の研修会、懇親会等に活用されているほか、工場内の緑地の整備時に余剰となった苗木や球根の町内への植樹や寄附を通じて地域緑化の啓発を図っている。加えて、工場周辺や地元神社境内の清掃活動等、地域社会への貢献度も高い。</p> <p>以上のように、同工場の諸活動は地域に密着した緑化の推進や地域コミュニティの活性化に顕著なものがあり、その功績は高く評価されるものである。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p style="text-align: center;"><small>かぶしきかいしゃほっかいどうこうじょう</small> サッポロビール株式会社北海道工場</p>
<p>所 在 地</p>	<p>北海道恵庭市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>工場長 村上 淳</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同工場は、平成元年6月に操業を開始したビールの製造工場である。「一企業市民として、社会貢献を考え、語り合い、行動する」という企業理念のもと、「環境との共生」、「地域との共生」を図るべく工場敷地内に池や丘を配置した企業庭園「恵みの庭」を整備するとともに、工場境界付近には花畑やグリーンベルトを重点的に配置し、塀を低く設けることにより開放的な工場を目指している。</p> <p>また、緑地の一部をパークゴルフコース、歩くスキーコースとして整備・開放することにより、年間を通じて地域住民の健康とリフレッシュに寄与している。更に動植物が安定して生息できる環境空間を持ったビオトープ園も造成している。</p> <p>毎年夏に開催しているビール祭「おんこ祭」の際には苗木のチャリティー販売を行い、来場者の緑化意識の向上を図るとともに、収益金は地元の福祉団体へ寄附している。</p> <p>さらに、有珠山への植樹活動や工場周辺の清掃活動の実施等、同工場の諸活動は地域に密着した緑化の推進や地域コミュニティの活性化に顕著なものがあり、その功績は高く評価されるものである。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>とほろぎょぎょうきょうどうくみあい 常呂漁業協同組合</p>
<p>所 在 地</p>	<p>北海道常呂郡常呂町</p>
<p>代 表 者</p>	<p>代表理事組合長 川口 和夫</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同組合は、昭和37年から町内の山林を自ら取得し植樹活動に取り組み、これまでに常呂川流域を中心にカラマツ、カシワナラなど50万本を超える植樹を行ってきた。</p> <p>また同組合の活動は、組合員や漁業関係者だけでなく、一般町民や近隣の町にも広がり、地域の環境保全意識の高揚や、子供たちに対する環境教育の促進など、単なる植樹活動にとどまらず環境保全活動全般にわたって大きな役割を果たしている。</p> <p>平成10年には、佐呂間町佐呂間別川の河川改修工事に際して、河畔林の造成を網走土木現業所に要望し、自らも河畔林造成に多大な協力を行った。</p> <p>さらに組合創立50周年に当たる平成11年には、記念事業の一環として、昭和60年に伐採されて以来放置されていた約4.8haの禿げ山を買い取り、緑化を通じた豊かな海づくりに多大な貢献をした前組合長の名を冠した「小笠原の森」を造成し、今後も漁協関係者と常呂町民が一丸となって森林保全活動を継続していくことを宣誓した。</p> <p>このように、同組合が地域の緑化並びに環境保全に対する住民の牽引役としてその役割を果たしてきた功績は多大である。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>ないだいじん しぜん まも かい 内大臣の自然を守る会</p>
<p>所 在 地</p>	<p>熊本県上益城郡矢部町</p>
<p>代 表 者</p>	<p>代 表 中村 辰雄</p>
<p>功績の概要</p>	<p>自然に恵まれた矢部町の中で、特に広大な天然林と溪谷が織りなす大自然を有する内大臣国有林は九州中央山地国定公園に指定されるなど、町民の誇りとなっている。</p> <p>同会は、内大臣国有林の天然林の保護と再生、緑川の清流を取り戻すことを目的とし、広葉樹の植林、分収林の管理及び住民や子どもたちへの環境教育を行なうため、昭和46年に地区住民により結成された。平成2年に「脊梁の原生林を守る連絡協議会」の結成に参画し、その後の地道な活動を通して脊梁の天然林約6,000haが「生物遺伝資源保存林」として指定されることに貢献した。</p> <p>さらに、緑川河口部のアサリの水揚げが激減したことを契機として、上流部の住人として漁協を含む流域の団体、住民及び子供たちとともに水源地において植栽活動を展開した。</p> <p>以上のように、同会は「緑のダム」をコンセプトに天然林の保護と再生に取り組んでいる。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>みどり しょうねんだん ヒノキアスナロ 緑の少年団</p>
<p>所 在 地</p>	<p>青森県青森市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>会 長 石戸谷 忠夫</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同少年団は、青森市立沖館小学校の4～6年生と同中学校の1～2年生の中から希望者を募り、現在52名で活動を行っている。</p> <p>青森市の、八甲田山系を源とした清涼な水道水を守るため、ブナの種子を採取し育成した苗木の水源地域への植栽を通して、豊かな森林づくりを推進している。また貴重な高山植物が多く生育する八甲田山において、高山植物愛護パトロールを実施し、盗掘防止を呼びかけるとともに、観光客へのゴミ処理の呼びかけ、清掃活動を実施している。</p> <p>昭和58年に結成されて以来学校の緑化活動も活発に行い、サルスベリ、ツツジ、ヤマボウシ、サクラ等を学校周辺と校庭に植栽し、草取り、灌水、雪囲い等の手入れを行っているほか、地域においては、学区内でゴミ・空き缶拾い等の清掃活動を実施している。これらの活動の結果、父母が活動に加わったり、ゴミを捨てる者が少なくなった。</p> <p>以上のように、同少年団は地域の自然保護意識及び環境美化意識の高揚に大きく貢献している。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>ふくれぎ しょうねんだん 福連木みどりの少年団</p>
<p>所 在 地</p>	<p>熊本県天草郡天草町</p>
<p>代 表 者</p>	<p>育成会会長 堀口 進</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同少年団は、山村地帯にある小規模校の4～6年生の児童をもって昭和61年に結成され、現在は全校児童25名で活動を行っている。</p> <p>平成3年にPTAの協力を得て炭窯を設置して以来、かつてふるさとの伝統産業であった炭焼き体験を継続して実施しており、炭の売上金は「炭焼き文庫」として図書の購入に当てるとともに、町の社会福祉協議会やユニセフに寄付を行っている。</p> <p>また、福連木奥山山頂（標高約400m）付近のマツクイムシ被害跡地に、マツノザイセンチュウ抵抗品種のマツやヤマモモなどを、地元農林漁業従事者と一緒に植栽するなど、地域に密着した緑化推進活動を活発に実施している。</p> <p>さらに、学校敷地に余裕がないため、プランターにマリーゴールド、サルビア、キンセンカなど様々な花を栽培し、学校緑化を行っているほか、平成11年に地元で国体を実施された際には、地元老人会等の指導、協力を得て学校付近の道路沿線を飾り付け、国体成功にも貢献した。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>とも かい フラワーランド友の会</p>
<p>所 在 地</p>	<p>東京都世田谷区</p>
<p>代 表 者</p>	<p>会 長 金子 由多嘉</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同会は、東京都世田谷区に昭和61年5月に開園した瀬田農業公園（フラワーランド）を活動拠点として、昭和63年11月の設立以来、各種緑化推進活動を行っており、公園内で週2回の作業等定例的な活動を行うとともに、園内の花壇について種から花苗を育て、花壇のデザイン、植込、そして完成後の管理に至るまで熱心に活動を行っている。</p> <p>また、区内で行われる緑化推進のイベント等に参加・協力を行うとともに、（財）せたがやトラスト協会と連携したボランティア活動として区内各地で開催される各種講習会の開催に協力するなど、緑化思想の普及・啓発、緑化の実践等を推進している。</p> <p>同会は、世田谷区の花であるサギソウを種から球根培養を行い、その保護と普及に取り組んでおり、区内で開催される「サギソウ講習会」にも講師として招かれるなど周囲からその技術、知見を高く評価されているところである。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p style="text-align: center;">こうえんかんりかい ふれあい公園管理会</p>
<p>所 在 地</p>	<p>兵庫県神戸市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>会 長 玉田 静雄</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同会は昭和50年に結成され、今日まで26年の長きにわたり荒田八幡公園（1,859㎡）の管理を中心に活発な活動をしており、現在、神戸市内で活動を続けている公園管理会の中では、先駆者的存在である。</p> <p>同会における活動は、地域の自治会・婦人会・老人会・子供会と連携を図り、公園の清掃・除草はもとより、花壇の手入れなどを熱心かつ積極的に実施し、公園の美化、緑化の推進に努めているものである。なかでも同会が管理する花壇は、市民花壇として神戸市より認定を受け、マリーゴールドやパンジーなどの季節の花で彩り、年間を通して多くの人々の目を楽しませている。</p> <p>また、こうした緑化活動とともに、青少年の健全な育成を図るため、地域の学校と協力し、年に数回、生徒とともに公園の清掃を行ったり、ひとり暮らしの老人を招き、花見大会や七夕祭り等の様々な行事を実施するなど、地域住民のふれあいを大切にし、緑化の啓発、公園利用促進等にも努めており、地域の美化、緑化推進に大きく貢献している。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>まいかわ くふじんぶ 舞川7区婦人部</p>
<p>所 在 地</p>	<p>岩手県一関市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>婦人部長 小野寺 敏子</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同婦人部（部員43名）は、昭和32年に結成され、結成以来40年以上の長きにわたり、県道、市道の沿線への花壇づくり等環境整備活動を続けている。</p> <p>具体的には、主要地方道一関北上線沿い（延長18m、280㎡）や県道薄衣舞川線沿い（延長162m、320㎡）の花壇や、新しい県道の予定路線となっている7区公民館付近（300㎡）の花壇などにおいて、部員総出で花の植付や草取、施肥を行ない、毎年美しい花を咲かせるなど、道行く人々の心を和ませている。本地域は水害常襲地帯であり、花壇も度々被害を受けているが、引き続き活動を続け、美しい花を咲かせ続けている。</p> <p>同婦人部は、他地域の自治会や老人クラブ、青年部等と連携をとりながら活動を行うなど、その活動を通して地域づくりにも努めているところであり、地域内外からも高い評価を得ている。</p> <p>昭和55年から「一関市花いっぱいコンクール」において毎年優秀な成績を収めるなど、地域の環境美化を通じた道路愛護活動において、先駆者的役割を果たしている。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>むろねむらだい くじちかい 室根村第12区自治会</p>
<p>所 在 地</p>	<p>岩手県東磐井郡室根村</p>
<p>代 表 者</p>	<p>会 長 小岩 邦彦</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同自治会では、大川の下流宮城県唐桑町が提唱する「大川を通じて海の生物を育てる」という環境保全の新しい切り口に共鳴し、森、川、海とつながる水循環系や生態系の保全のための植樹活動を平成4年には室根山で、平成5年からは矢越山で行なっている。</p> <p>また、「水車のある集落づくり構想」を独自に策定し、広葉樹の植林による水源かん養の森づくり、水車小屋の復元、環境保全型農業を3本の柱として、具体化に取り組んだ。</p> <p>特に、平成5年から実施している水源かん養の森づくり活動では、「森は海の恋人」をテーマとした植樹祭が開催され、全国各地から毎年700人の参加者を集め、約3,000本の広葉樹の植樹を行なっている。</p> <p>この活動は、水循環の上下流の交流による農山漁村地域の新たな環境保全の取り組みの先駆的運動となった。加えて下流や都市部の中学生等の環境教育の受け入れをおこなうなど、水の源となる森と、川の上流から下流、そして海までの農民、漁民、市民の交流、さらにはこの運動に賛同する都市住民との交流を加え、流域全体の緑化の推進に大きく貢献している。</p>

[学 校]

<p>名 称</p>	<p>おきなわけんりつよかつこうとうがっこう 沖縄県立与勝高等学校</p>
<p>所 在 地</p>	<p>沖縄県中頭郡勝連町</p>
<p>代 表 者</p>	<p>校 長 知念 孝</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同校は、沖縄本島中部の東海岸につき出た勝連半島の丘陵地に位置し、東に中城湾、西に金武湾を一望できる風光明媚な環境にある。昭和55年の開校以来、「個性を啓発し、創造力豊かで、知・徳・体の調和のとれた円満な人格の形成」を教育目標に掲げ、その重要な実践事項の1つに「環境を緑化し、美化する」が挙げられており、学校緑化5年次大計（昭和55年～昭和59年）のもとに、学校緑化に取り組み、潤いのある清潔で明るい学習環境づくりを進めた。</p> <p>同校は岩盤地帯（琉球石灰岩）に建設されたため、客土して樹木を植える必要があるなど、緑化にあたって多くの困難な作業が必要であったが、生徒・職員及び父母や地域住民の努力と協力により計画を達成した。当初の5年次大計を達成した後は、更に新たな年次計画を立て、樹木の維持、管理を行っている。このような緑化活動の結果、緑を育て、緑と触れ、緑と共に育つ環境を実現している。</p> <p>また、勝連町及び隣接の与那城町で唯一の県立高校であり、両町あわせて17の小中学校の緑化に関する推進役として、地域や教育関係者からも高い信頼と評価を得ている。</p>

[学 校]

<p>名 称</p>	<p>おとわちょうりつはぎしょうがっこう 音羽町立萩小学校</p>
<p>所 在 地</p>	<p>愛知県宝飯郡音羽町</p>
<p>代 表 者</p>	<p>校 長 伊藤 嘉彦</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同校は、愛知県東三河地方に位置する、児童数93名の小規模校である。学区域内にある萩財産区有林（450ha）は、その6割がマツで占められていたが、昭和の終わりから松くい虫の被害にあい、立ち枯れていくようになった。このため、平成2年度に、「故郷の山が危ない」という意識から4～6年生の全児童が参加し、植付け、下刈り、枝打ち、間伐等の「山仕事活動」に取り組み始めた。植付け作業の始まった平成10年からはPTAが、平成11年からは中学生が、前年自分たちが植えた植林地の下刈りに参加するなど、活動の輪が広がってきている。</p> <p>また、平成11年には（社）愛知県緑化推進委員会等からどんぐりの苗木の育成を依頼されたことを契機として「どんぐり委員会」を結成した。どんぐり拾いから始め、約600本のコナラ、クヌギ、ミズナラなどの苗木を全校で育成しており、平成13年度には卒業生も招いて植える予定である。</p> <p>以上のように、同校は、地域を巻き込んだ緑化推進活動を着実に実施している。</p>

[学 校]

<p>名 称</p>	<p>なすちょうりつおおしましょうがっこう 那須町立大島小学校</p>
<p>所 在 地</p>	<p>栃木県那須郡那須町</p>
<p>代 表 者</p>	<p>校 長 笹沼 弘憲</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同校は、明治6年に日新館分校「東雲舎」として開校し、以来、豊かな自然環境を生かした学校教育に取り組んできた歴史のある学校である。</p> <p>平成元年の校舎新築を契機として、新たに環境整備計画を作成し、児童・職員・PTA・後援会・地域住民等が一体となって「緑で学び、緑で育てる豊かな心の育成」を課題として、恵まれた環境を生かした緑づくりに積極的に取り組み、現在に至っている。</p> <p>平成2年度からは、教育改革の諸条件に対応できるよう、教育環境緑化事業として県の補助を受け、広い敷地を利用した体験学習の場の整備を行った。</p> <p>さらに平成4年度にはキャンプ場を整備、平成6年度には「森のせせらぎ」を完成させ、これらの豊かな環境を積極的に活用するために、季節に応じた野外給食、「学びの森」での様々な学習活動、「校内キャンプ」「一人一木運動」などを実施している。</p> <p>現在では、環境を生かし、緑に親しみ・緑に学ぶ体験を重視した教育活動に積極的に取り組み、学校と家庭と地域社会が強力に連携して、地域を挙げての緑化の推進に努めている。</p>

[地方公共団体]

<p>名 称</p>	<p>かどまし 門 真 市</p>
<p>所 在 地</p>	<p>大阪府門真市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>市 長 東 潤</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同市では、市域に里山が無いなど、自然に乏しいことから、緑あふれる美しい街並みを創造するため、公共施設整備や道路整備などのハード事業に際して、緑をふんだんに取り入れるように工夫するとともに、みどり豊かな潤いのあるまちづくりのための各種ソフト事業に積極的に取り組んでいる。</p> <p>まず、都市の美観風致の維持のため、巨樹や都市樹林を保存するとともに緑化樹を配布している。また、市内の公園等の愛護思想の啓発を図るため、地域住民により公園愛護会が組織されるとともに、阪神・淡路大震災を契機に、環境の向上と災害に強いまちづくりのため、遊休地等を緑地として整備するなど、都市ならではの緑化推進が図られている。</p> <p>さらに、これらの取組をサポートするため、（財）門真市緑化推進センターが市民参加による緑化推進活動を展開し（一口200円の賛助会員を募集することにより基金造成）、各地に花や木々を鑑賞することで緑の大切さを体験する「グリーンツアー」の実施や、自治会や小学校へプランターや花壇植栽用の苗木、球根、たい肥等の配布を行っている。</p>

[地方公共団体]

<p>名 称</p>	<p>くらしきし 倉敷市</p>
<p>所在地</p>	<p>岡山県倉敷市</p>
<p>代表者</p>	<p>市長 中田 武志</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同市は、花と緑いっぱいのもちづくりを進めるため自然環境保全条例を制定し、それに基づく「緑の基本計画」を策定するなど、住民の協力を得て積極的かつ計画的に緑化推進に取り組んでいる。</p> <p>まず、花で飾られた地域作りを目指し、公共施設、駅、商店街などに設置された約5千個のフラワーボックスに市から提供を受けた花の苗を住民自らが植栽し育成管理を行っている。また、公共施設のブロック塀を生垣に替えるなどの事業を実施しているほか、家庭での緑化を進めるため結婚、誕生、入学を記念して、住民に苗木を配布している。</p> <p>さらに、家庭等で不要となった樹木を市が買い取り希望者に譲り渡す「緑のリサイクル事業」の実施や、緑化基金を設置し、その運用益で生垣設置の推進を図るなど多彩な事業を展開している。</p> <p>加えて、住民の緑化思想の普及啓発のため、平成8年から地域において緑化の実践及び緑化運動に功労のあった市民等を表彰するとともに、緑化教育の一環として花の栽培等の学校行事や緑化ポスターコンクールを行っている。</p>

[地方公共団体]

<p>名 称</p>	<p>さがえし 寒河江市</p>
<p>所 在 地</p>	<p>山形県寒河江市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>市 長 佐藤 誠六</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同市では、自然と環境に調和する美しい交流拠点としてのまちづくりを目的とした「花・緑・せせらぎで彩る寒河江」をキャッチフレーズに花と緑の植栽を通じた環境美化と景観形成を13年間展開している。</p> <p>その一環として、国道112号の約10kmに及ぶ「花回廊フラワーロード」をシンボル軸として、市内の主要な街路での並木植栽、街路灯のJポット設置や歩道のプランター設置等により、10万本を超える花や低木の植栽を行った。また、市民・企業・行政が一体となった地域の環境改善運動(グランドワーク)による公園の花壇づくりや、小・中学校生による学校花壇の設置など住民主体での花と緑で潤いのあるまちづくりを推進している。これらの花壇等の維持管理においては、同市が花苗の供給を担うと共に、同市普及センター等による管理技術指導を行うなど、行政サイドが一貫して支援している。</p> <p>平成9年から実施している景観コンクールを通じて、粗雑な看板の撤去やゴミ拾いが恒常化するとともに、ツツジを市の花として指定し、都市公園や水辺の空間整備等による豊富な自然と緑・田園風景の創出など花とみどりが溢れる都市機能と自然環境の調和に配慮した緑化推進や景観づくりが行われており、これらは高く評価される。</p>

[地方公共団体]

<p>名 称</p>	<p>とよたし 豊 田 市</p>
<p>所 在 地</p>	<p>愛知県豊田市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>豊田市長 鈴木 公平</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同市では、野鳥、植物、昆虫等の観察会の開催等自然を観察することを通じて、自然環境を保全していくことの大切さ、自然保護思想の普及啓発を図ることを目的に約29haの自然林を整備し、平成2年に「豊田市自然観察の森」を開設した。</p> <p>同自然観察の森の整備に当たっては、特に駐車場、取付道路沿い及びネイチャーセンターの周囲等に高木145本、低木6,130本の植栽を行った。その後、既存の豊富な樹木等を守るための下刈りや択伐等を毎年実施し、緑化の推進に力を入れている。平成10年には、同自然観察の森において愛知県内の湿地保護活動に取り組んでいる団体等が「湿地サミット」を開催し、参加者より高い評価を得たほか、平成11年には、開設10周年の記念事業として講演会、絵画作品募集などを行う等身近な自然にふれあうことができる場所として、市民に親しまれ、同市の緑化思想普及のための拠点となっている。</p> <p>また、同市では、公共施設の緑化やみどりの日記念植樹を実施するとともに、記念樹及び緑化木の配布事業を実施するなど、市民の緑化意識の向上を図りながら緑化推進に努めている。</p>